

## (仮称)市民交流プラザ整備工事設計業務プロポーザル審査委員会 審査講評

### 【審査の実施について】

(仮称)市民交流プラザ整備工事設計業務プロポーザルは、関係専門分野の5名を構成員として設置された、「(仮称)市民交流プラザ整備工事の設計者を選定するために設定する選定委員会(以下、「選定委員会」という。)」において、最適候補者の選定に至るまで慎重かつ厳正な審査を行いました。

### 【選定結果】

最適候補者(最高得点者)：株式会社久米設計 名古屋支社

### 【選 評】

#### ○最適候補者について

最適候補者の提案は、数多くの複合施設や公共図書館の設計実績に裏付けされた質の高い内容となっており、「(仮称)市民交流プラザ整備実施計画」に基づく、業務計画及び特定テーマに対する提案の的確性、実現性、独創性等が高く評価されました。

特に、空間のコントロールでは、機能の複合について、実施計画の内容をよく捉え、機能の一つである「学び」を全体のつなぎ役として、他の機能との効果的な融合の意図や様々な活動を引き出す配置構成、活用方法が具体的に示された提案として評価する意見が多く出されました。また、限られた空間でのリバーシブル性や運用時の課題にも配慮したセキュリティラインのコントロール、賑わいから静かな空間への誘いと音のゾーニング、新型コロナウイルス対策と省エネの環境技術、地元産材の活用など、施設の魅力を高める多くの点に着眼し、説得性の高い内容を評価する意見も出されました。

一方で、市民ワークショップや市民参加のイメージの提案が弱かったこと、外観のスケール感には好感が持てるがデザインで独創的な要素が薄いこと、2階と3階を繋ぐ階段の考え方も不明瞭といった点については、設計段階でさらに検討が必要であるという意見も出されました。

実績と経験、事業費の書類審査及び技術提案書に対する審査を総合的に評価した結果、技術力や業務をリードしていく実施体制を十分に備えていると判断し、最適候補者として選定しました。

#### ○その他参加者について

その他2者の提案も、これまでの数多くの実績や経験に裏付けされた質の高い内容がまとめられています。

その他2者のうち1者の提案については、設計から運用開始までの市民参加のプロセスと組織づくりが、実績も含めて高く評価され、複合施設の運営手法においても活かすことが期待できると

いう意見が多く出されました。デザインにおいても、屋根や空間のインパクト性とアイデア、中山道と逆面の立面イメージが独創的かつ魅力的と高く評価する意見がある一方で、屋根は町並みに圧迫感をもたらさないか、雨水の処理がうまくいくか、フロアで発生する音が制御できるか、といった疑問点も出されました。

また、他の1者の提案については、吹き抜けを介してスキップしていくフロアのアイデアとデザインは斬新で、利用する楽しみが拡がり、交流や視覚的なつながりを持たせる仕掛けとして、高く評価する意見が多く出されました。また、全体に開放的で気持ちのよい空間のつくり、移動のしやすさ、地表面の高さの違いの活かし方を評価する意見も出されました。一方で、外観の大きなファザードは特徴的ではあるが、町並みのスケール感と合わないのではないか、メンテナンスコストが高くなるのではないか、内部の音の制御方法について疑問点も出されました。

## 【総 評】

「(仮称)市民交流プラザ整備実施計画」においては、「ひと、まち、未来を元気にする交流と学びとにぎわいの拠点」を基本理念にして、施設が目指すべき4つの基本方針と求められる機能(子育て支援、市民交流、学び、観光)が掲げられています。

今回実施した公募型プロポーザルでは、本実施計画に基づく施設整備を実現するため、業務の着実な履行に適う業務計画と複合施設の特長の活かし方、中津川市の魅力発信、埋設杭の有効活用についての考え方をテーマに、技術提案をお願いしました。

短い作成期間にも関わらず、参加者の皆さまからは、豊富な設計実績と経験を活かすとともに、各者が強みとしている特徴と創意工夫を凝らした質の高い技術提案をいただきました。

選定委員は、各参加者のよく考えられた技術提案の内容にたいへん難しい審査を行うことになりましたが、それぞれの立場の専門的知識や経験を基に厳正な審査を行いました。

今後は、最適候補者と中津川市との間で検討を重ねられながら、中津川市民が長く待ち望んだ(仮称)市民交流プラザの整備に向けた設計業務が進められていくこととなりますが、その過程において、市民の意見を十分に聴取されるとともに、今回の選定委員会での意見等も出来る限り反映していただき、市民に永く親しまれる施設整備が実現することを願うものです。

最後に、本プロポーザルにご参加いただきました参加者各位におかれましては、新型コロナウイルス感染防止対策として様々な制限や自粛の状況の中、貴重な時間と労力を費やし真摯にご対応をいただきましたことに、心より敬意を表します。

社会が一日も早く正常な日常を取り戻せることを願うとともに、皆さまの更なるご活躍とご発展をご祈念いたします。

(仮称)市民交流プラザ整備工事の設計者を  
選定するために設定する選定委員会

委員長 松本 直司